

## お知らせ

★活動組織の皆様からの新鮮な情報をお待ちしています。  
本誌やホームページなどで紹介させていただきまますので、どんどんお寄せください。

## 編集後記

★今回は、県内のお勧めイルミネーションスポットをご案内します。

◆びわ湖大津館2015  
大津市柳が崎5-35

12月1日～H28.2月14日

◆草津まち伊い

JR草津駅周辺

開催中～12月25日

◆もりやま冬ホタル

守山駅前緑地公園

開催中～H28.1月31日

◆しがらきイルミネーション2015

信楽駅から甲賀市役所

信楽地域市民センター周辺

12月5日～H28.1月11日

◆2015イッパグ'へ' in 能登川

東近江市林中央公園

12月19日～12月26日

◆石塔町'へ'のイルミネーション

東近江市石塔町 竹の

鼻文化センター

開催中～H28.1月3日

お近くの方は行ってみ

られたらいかがでしょうか。

(A.W)

お近くの方は行ってみ

られたらいかがでしょうか。

(A.W)

お近くの方は行ってみ

られたらいかがでしょうか。

(A.W)

お近くの方は行ってみ

られたらいかがでしょうか。

(A.W)

お近くの方は行ってみ

られたらいかがでしょうか。

(A.W)

## わたしたちもがんばっています！ パート2

辻越ドジョウ保全ネット（栗東市）

代表 辻 憲治

私たちの地域は、琵琶湖の南部に位置した中山間地域に広がる水田地域で、ほ場整備も完了した整った農用地となっております。

しかしながら、近年耕作者の高齢化が進み、地域の連帯により、豊かな景観や生態系、水環境を守ることが困難な状況になりつつあります。

このような中、まるごと保全活動をきっかけに、農業者が自治会、子ども会、老人クラブ等の地域住民と一緒に以下のような様々な活動に取り組みました。

- ◆豊かな田園の生き物を育む取り組み
- ・ホタルなど在来生物の保全活動
- ◆地域住民の交流
- ・さつまいもの収穫祭



・子ども会を中心に水田の畦畔に植えた彼岸花の写生会の実施

- ◆景観形成
- ・フラワーポット（2か所、各10個）の農道交差点への設置



- ・地元の木材（杉）を利用した花壇を作成し、花の定植管理
- ・啓発普及のための看板の設置
- ・農道の斜面を利用した花壇の管理等
- ◆水質保全
- ・各水田における適正な水管理
- ◆異常気象時の対応
- ・2年前の台風18号による水路・ため池等被害に対する補修作業
- ◆鳥獣害防護柵の補修・設置
- ・本年度は本地域でも問題化してきた鳥獣害対策（猪、鹿等）として、柵の設置管理を計画

辻越ドジョウ（鱧、土壌）保全ネットの活動も10年以上が経ち、水路、ため池など各施設の老朽化が進み、対応も非常に難しくなってきました。また少子高齢化など非常に厳しい環境がつつくなか、農業者を中心に地域住民が、みんなで農村を守るという意識を念頭に、事業の継続に努めていきたいと考えております。



## 滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会

- 本協議会は、活動組織への支援や、採択手続き、交付金の交付事務などを行っています。
- 書類作成にかかる参考資料や活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

農村まるごと

検索

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>

Email: [kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com](mailto:kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com)

# まるごとだより 第35号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



## 目次

☆平成27年度 第2回農村まるごと保全技術研修会を開催しました

☆愛知県より『おおくさ水土里の会』が視察に来られました

☆わたしたちもがんばっています。パート1  
「鴨川水土里グループ」  
(高島市)

☆日野町の「まるごと」の取り組み紹介  
(日野町)

☆わたしたちもがんばっています。パート2  
「辻越ドジョウ保全ネット」  
(栗東市)

発行 (2015.12)

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会

〒521-1224

東近江市林町601番地  
水土里ネット滋賀内

電話 0748-42-4806

FAX 0748-42-5574

Email: [kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com](mailto:kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com)

## 平成27年度 第2回農村まるごと保全技術研修会を開催しました

平成27年10月14日(水)・16日(金)・23日(金)の3日間県内3箇所で、～書類作成と農業水利施設の機能診断、簡易補修について～をテーマに、『農村まるごと保全技術研修会』を開催しました。県内各地より、3箇所合せて約300名の方のご参加をいただきました。ご参加いただいた皆さんにはお忙しい中にもかかわらず、ありがとうございました。



守山市での会場の様子です。

『滋賀県水・みどりエコノ技術協会』様より、末端コンクリート水路の機能診断と簡易な補修方法についてお話をいただきました。

## 愛知県より『おおくさ水土里の会』が視察に来られました

平成27年11月26日(木)、愛知県小牧市より『おおくさ水土里の会』の構成員の方53名が大型バスで視察に来られました。室内で、彦根市の『南三ツ谷ふるさとを守る会』の活動紹介、魚のゆりかご水田の取り組み、滋賀県の推進協議会の取り組みなどの紹介のあと、現地では法面植栽の様子を視察されました。



室内での様子です。

現地視察の様子です。

# わたしたちもがんばっています！ パート1

鴨川水土里グループ (高島市) 委員長 木津昭彦

## 広域化による効率的な取組を実現！

当グループは、5町1村が合併された琵琶湖の北西側にある、高島市の南部に位置します。近年、適切な保全活動を持続的に取り組むことが難しい状況となってきたことから、農家だけでなく、非農家も含めた取組体制が必要となっています。大切な資源を環境や生態系などに配慮しながら、子どもたちや、高齢者などと共に地域ぐるみの維持保全活動をするうえで、所有する農地が分散しており集落単位での活動範囲の線引きが難しいということや市からの指導もあり、17集落を1つの広域組織として、鴨川流域土地改良区が事務局となった、鴨川水土里グループを発足しました。



グループでは、集落を「支部」と位置づけていますが、支部の活動内容の一部をご紹介します。

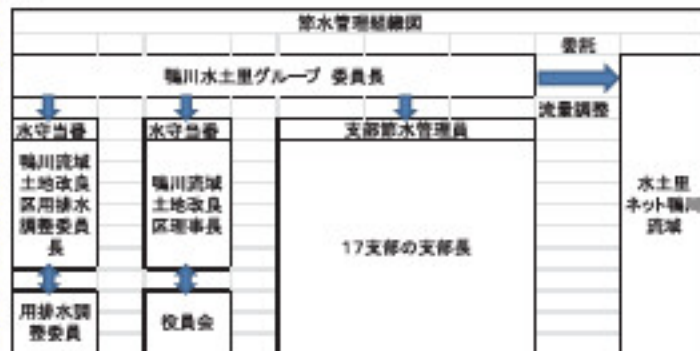
①水路、農道を支部ごとに区分けした場所を、今では毎年の行事として取り組んでいます。水路溝畔再形成、各個人では出来ないこともこの事業に取り組んだことにより実施出来ています。

②点検・機能診断を行い農道の凸凹をレミファルトや砂利で補修しています。技術研修に参加しているお陰です。

③景観形成については、3支部が水路溝畔に芝桜を植栽し、住民の目を楽しませてもらえるばかりではなく、集落が明るくなり地域交流が深まると共に、県外からも視察にいられています。ある支部ではそばを栽培し、子どもたちもそば打ちを体験し、みんなで試食するという世代を超えた交流の機会でもあり地域の活性化にも繋がっています。



④農業用水の効率且つ効果的な水管理を強化することにより、農業排水を削減し、琵琶湖への農業系負荷削減を図るため「環境こだわり水管理計画書」を作成し、下図の体制により、節水管理を行っています。



広域活動組織として、事務局の土地改良区に委託することで、各集落に交付される金額は減少しますが、活動意識の統一化や集落単位での事務作業の大幅軽減が図られました。また、土地改良区と組合員や集落組織が一体となって施設を管理する機運が醸成されてきたと考えています。

今後の目標としては、継続して共同活動に参加してもらえ土地持ち非農家や参画団体へ、更なる説明努力を続け、新たな参画者を募り広げていきたい。

また、地域資源保全管理構想の策定に向け、農業者が減少する中で、担い手農家の将来を見据えた保全管理活動をどのように継続させるかについて検討会を実施し、地域で合意を図って行きたいと考えております。



# 日野町の「まるごと」の取り組み紹介



日野町 農林課

日野町は、滋賀県の南東部、鈴鹿山系の西麓に位置し、標高1,100メートルの霊峰・綿向山を東に望み、春には町の花である「ほんしゃくなげ」が咲き誇るなど、無限の大地が育んだ自然環境に恵まれた町です。地形は琵琶湖に向かって傾斜し、山麓から流れる水の恩恵を受ける肥沃な大地において水稲を主体とした農業生産が展開されています。

日野町における「まるごと」の取り組みは今年度新たに2組織が加わり、54の組織が約1,608ヘクタールの協定農用地を定め、農地の持つ多面的機能を発揮すべく地域が一体となってさまざまな活動を展開されています。

農地維持活動では、農地のもつ多面的機能を維持するため、農道法面やため池の草刈、水路の泥上げなどの作業を自治会や老人会など地域の組織と連携して実施されています。また漏水防止の畦塗り作業を実施する組織が多く見られ、濁水を流さない意識を持って取り組みを実施いただいています。新制度へ以降して2年目にあたる今年度は、まるごと保全が未来へとつながるよう地域資源保全管理構想の策定をお願いしています。



鎌掛地区農村環境保全活動組織 『生き物調査』

共同活動では、子ども会と共に「いきもの調査」に取り組んだり、女性会と共に集落の花壇を整備される組織が多くあります。中には6月ごろに地域でホテル観察会を行ったり、大きな組織では組織内



ひさの農村まもり隊 『ホテルの観察会』



寺尻みどりの里保全会 『プランターの花植え』

で定期的に広報を発行してまるごとの活動をPRされている組織もあります。将来を担う子供たちが関心を持ち、水田の持つ美しい風景が次世代へ引き継がれるよう農家・非農家の枠を超えて取り組みが進んでいくことを願います。



おくつファーム協議会 『獣害柵の設置』

山間部では、農作物に被害を与える獣害の対処に奮闘されています。畦や圃場を掘り起こすイノシシ、鹿などの対策について獣害柵の設置や既存の柵のかさ上げ、上部に電気柵を追加するなど被害の拡大阻止に取り組まれ、圃場から集落全体を守ろうと頑張っておられます。

また圃場整備完了から約30年が経過し、施設の老朽化が目立つ組織では、長寿命化の補助金を利用して業者委託による補修工事などを実施されているほか、資源向上の共同活動にて水路の目地詰めを行うなど簡単な補修工事を実施されています。

本年度9月9日に襲来した台風18号がもたらした大雨は町内でも被害をもたらしましたが、異常気象時の施設の点検や組織が一体と

なつての復旧作業などにより被害の把握と復旧を迅速に行っていたところと

農業情勢が大きく変わりつつあるなか、当町においても次世代の担い手を育成することが課題になっています。この「まるごと」の活動を通じて豊かな農地や施設、そして地域のつながりが次の世代に引き継がれ拡大していくように、活動を支援・推進していきたいと考えています。

## 情報コーナー

★『人・生きものにぎわう農村フォーラム「2016」』開催の知らせ

日時：平成28年2月13日(土) 13:00～  
場所：滋賀県立男女共同参画センター 大ホール  
(近江八幡市鷹飼町)

●基調講演  
『森里湖を結ぶ農業の過去・現在そして未来』(仮題)

講師：大和田 順子さん  
(一般社団法人 ロハス・ビジネス・アライアンス共同代表)

●演劇  
『明日、君を食べるよ ～少年とウシの命を運る物語～』(講演承認申請中)

劇団ZERO & 劇団深夜特急  
(滋賀大学・県立大学合同演劇部)

●県内特産品展示販売  
●フォトコンテスト、絵画コンクール表彰 等です。

※詳細は別途ご案内します。皆さん奮ってご参加ください。